

RDD2025 こどもお絵かき大募集

2025 年は「スマイル大作戦」をテーマに 640 枚の応募がありました

シミックグループ/オーファンパシフィックは、多くの方々に希少・難治性疾患を知っていただくため、シミックグループの拠点である浜松町ビルディングのビルのテナント会社の皆さんと一緒に RDD 浜松町ビルディングを開催しました。その一環として活動した「こどもお絵かき大募集」のご報告をさせていただきます。

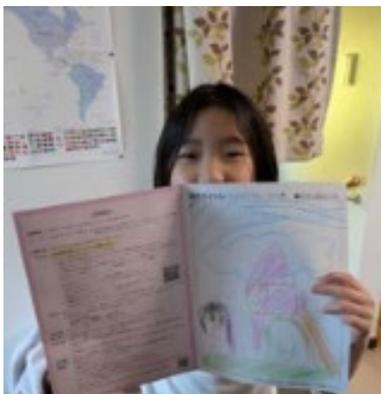


希少難治性疾患の患者さんの半数がお子さんであることから、病気に立ち向かっているお子さん達へ少しでも笑顔になれるよう応援メッセージを届ける想いを込めて、中学生以下のお子さん達に絵を描いていただく「こどもお絵かき大募集」。

今年は「スマイル大作戦」をテーマに、640 名のお子さん達から絵の応募をいただきましたのでその活動を紹介させていただきます。

RDD Japan 公認開催地区として活動している RDD 浜松町ビルディング(<https://rddjapan.info/2025/hamamatsucho/>)では、毎年 30 名前後のサポーターに参加をいただいております。その中で、「こどもお絵かき大募集」の活動では、12 名のサポーターの皆さんが、各自の

社内外のネットワークから、小学校、ベビーシッター会社、学童、保育園、幼稚園、美術館、図書館、医療機関(医師・医薬品の開発に関わる治験コーディネーター・治験事務局・薬局)、クライアント、患者会、外部イベントへ、その総数は 45 団体、パンフレットは約 4,000 枚以上配布、本活動を昨年 11 月より開始し、3 月末日まで希少難治性疾患の啓発活動を行ってきました。



【2025年の応募作品はこちら】

<https://www.cmicgroup.com/files/user/corporate/oekaki2025/>

今回の応募を通じて、640枚の絵とともに、たくさんの温かい応援メッセージも寄せられました。

その一つひとつには、患者さんやご家族への思いやり、共感、そして未来への希望が込められています。

「ひとりじゃない」という力強いメッセージ

「笑顔の連鎖が広がってほしい」という願い

「助け合って生きていきたい」という共感の声

「自分も難病と闘っている」という仲間からの励まし

「この活動を通じて初めてRDDを知った」という新たな気づき

「子どもたちの絵が誰かの力になれば」という純粋な想い



多くの方が、「誰もが生きやすい社会」や「笑顔あふれる未来」を願い、心を込めて声を届けてくださいました。この活動が、希少難治性疾患について知るきっかけとなり、支え合いの輪がさらに広がっていくことを願っています。

製薬協が行った調査結果では、希少難治性疾患に対する周囲の理解が少なく、患者や家族は差別や偏見に直面していることが指摘されています。

具体的には、79%の患者さんが一般の人の希少疾患に対する理解・関心度が低いと回答し、51%が学校や職場で周囲の理解が得られない、42%が社会生活を送るうえで差別や偏見などの不利益を被ることがあると回答しています。

<https://www.jpma.or.jp/shared/pdf/20230209.pdf>

[日本製薬工業協会 難病・希少疾患タスクフォース「希少疾患 患者さんの困りごとに関する調査」](#)

希少難治性疾患に対する社会的認知の不足が、差別や偏見を助長し、患者さんたちが多くの困難に直面する原因になっております。オーファンパシフィックでは、浜松町ビルディングを拠点としたビルのテナント会社の皆さまと共に社会全体がより公平で包摂的な方向へ進むためにRDDの啓発活動を今後も取り組んでいきます。